

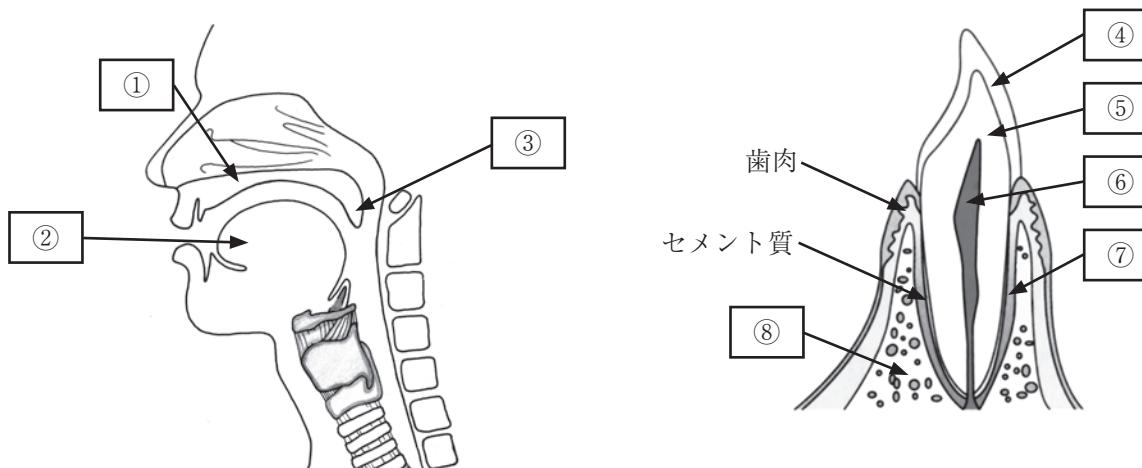
令8 養護教諭（5枚のうち1）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

I 歯・口腔について、次の問い合わせに答えなさい。

1 次の図は、歯・口腔の断面図である。図中の①～⑧に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

図



2 次の(1)～(4)は、歯科健康診断における学校歯科医による所見である。解答用紙の歯式に、所見に該当する記号を、それぞれ書きなさい。ただし、記号は一度しか使えないものとする。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 右上の第二大臼歯：未処置歯 | (2) 左下の第一小臼歯：要観察歯 |
| (3) 左上の側切歯：処置歯 | (4) 右上の第二乳臼歯：要注意乳歯 |

3 次の文章は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり 令和元年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されている歯周病の原因とその予防について述べたものである。文中の（①）～（⑨）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

歯周病は歯肉にみられる炎症に始まり、この炎症を（①）という。また、その部位には、歯垢が付着しており、さらに硬い（②）が付着していることもある。自覚症状が少ないことから放置されることが多く、進行すると歯が揺れるようになる。この炎症を（③）といい、より重症になると歯が抜けてしまうことになる。

歯周病の発症や進行には個人差があり、加えて思春期におけるホルモンの変化やストレスなどの要因も関わっていることがある。思春期になると（④）ホルモンと（⑤）ホルモンが増加し、血管が拡張し歯肉の炎症や腫れ、出血が起りやすくなる。また、ストレスにより（⑥）ホルモンが分泌され、生体を守る免疫機能が低下することにより、歯周組織に影響が生じると考えられている。

口臭は歯周病の症状の一つであるが、重度の（⑦）や歯周病以外に癌やアシドーシス等によっておこることもある。口臭症治療のなかで有効性のあるのは適切な（⑧）である。また、実際には口臭がないにも関わらず、過度に口臭を気にする人もいる。これを（⑨）といい、潔癖な人に多くみられる。

4 次の表は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり 令和元年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に示されている注意が必要な習癖についての説明である。表中の（①）～（④）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

表

習癖	内 容
口呼吸 (①) 不全	意識して口を閉じて鼻で呼吸するように指導するが、花粉症やアレルギーなど鼻の病気がないかチェックが必要である。
舌突出癖	唾液や食べ物を飲み込む時に舌を前方に突出させる。舌で押されることで、前歯が開いて上下に隙間が生じやすく、不正咬合の一形態である（②）が顕著な場合は学校歯科医に相談する。
歯ぎしり くいしばり	本人には自覚されていないことが多い。（③）関節の症状や頬や首の（④）痛を訴えることもある。ストレスや精神的な問題が関連することもあるので、健康相談が必要な場合がある。症状がある場合は学校歯科医に相談する。

5 次の文章は、学校における口腔外傷の対応事例である。下線部ア～オについて、適切な対応には○を、適切でない対応には×を、それぞれ書きなさい。ただし、該当生徒は意識障害や大出血はないものとする。

高等学校2年生の生徒が、昼休みに教室で荷物につまずき転倒した際、口が机に当たり出血した。生徒は、職員室に申し出たあと、保冷剤を直接患部に当てながら、担任と一緒に保健室に来た。

養護教諭は、生徒の顔色と口腔内の状態を確認し、口腔内をア水道水で洗浄させ、立たせた状態で受傷部分を確認した。上唇に切り傷があり右上第一切歯が脱落していたため、患部の止血処置をしたあと、来室時と同じように冷却を続けるよう指示した。脱落した歯を担任が持ってきていたため、ガーゼに包んでビニール袋に入れた。すぐに保護者に連絡したところ「自宅近くの歯科医院が2時間後に開くので、その頃に迎えに行きます」とのことであったので、保護者の到着を待ち引き渡した。

令8 養護教諭（5枚のうち2）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

II 次の1～4は、腹部打撲について述べた文である。下線部について、正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

- 1 肝臓・脾臓・腎臓は、損傷を受けると大量の出血が起こり、出血がすすむと肝臓・腎臓の場合、腹膜刺激症状などを呈する。
- 2 肝臓の外傷は一般的に右葉に起こりやすい。
- 3 肝臓に次いで損傷を受けやすいのは、脾臓であり、右上腹部痛が特徴である。
- 4 反動痛はロブシング徵候とも呼ばれ、腹壁に指を立てて押していくと、急に離すと、ピーンとした痛みを感じる。

III 次の1～6は、「子供の運動器の健康 学校における運動器検診の手引」（公益財団法人日本学校保健会）に示されている主な運動器疾患について述べた文である。文中の（①）～（⑥）に入る語句として適切なものを、とのア～コからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 1 思春期の女性に多くみられる（①）は、矯正コルセットにより変形の進行を抑えることができるため、定期健康診断による早期発見が重要である。
- 2 腰椎椎弓の疲労骨折である（②）は、青少年期における過度のスポーツが原因と考えられる。
- 3 脛骨の骨膜が炎症を生じ、痛みを出す（③）は、ランニングやジャンプを繰り返すことでヒラメ筋の付着部で炎症を生じる。放置すると重症化する危険性があり、早期に見つけて適切な休養が必要である。
- 4 ダッシュやジャンプにより牽引負荷が繰り返し加わることで、脛骨粗面の痛みとして発症する骨端症を（④）という。
- 5 跖の骨端は解剖学的に血流障害が起こりやすく、アキレス腱の牽引や荷重の負荷が加わることにより骨端部に痛みが生じる。このような踵骨の骨端症を（⑤）という。
- 6 立って体重をかけた時に足の内側のアーチが低下し、土踏まずがなくなってしまう状態を（⑥）という。

ア 椎間板ヘルニア	イ 椎間板狭窄症	ウ 腰椎分離症	エ 脊柱側わん症	オ シンスプリント
カ オスグッド病	キ シーヴァー病	ク ペルテス病	ケ 外反母趾	コ 扁平足

IV 次の1～4は、生殖器の疾患について述べた文である。1～4が示す疾患として適切なものを、とのア～コからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 1 感染初期には感染した場所の皮膚や粘膜に硬いしこりや鼠径部にグリグリとしたものができ、痛みをともなわない疾患。
- 2 精巣と精巣に入る血管や神経の束がねじれてしまうことにより、精巣を包む袋である陰嚢部から下腹部にかけての痛みと、陰嚢の腫れが生じる疾患。
- 3 子宮内膜症の病変が卵巣に入り込み、月経血のような液体をため込む疾患。
- 4 外陰部に鶲冠状の小さなぼがたくさんできる疾患。

ア チョコレート嚢胞	イ 多囊胞性卵巣症候群	ウ 子宮筋腫	エ 精巣捻転症	オ 精巣上体炎
カ 尖圭コンジローマ	キ 性器カンジダ症	ク 性器ヘルペスウイルス感染症	ケ 淋病	コ 梅毒

V 次の文章は、「学校において予防すべき感染症の解説 令和5年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）及び「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会）に記載された結核について述べた文である。文中の（ア）～（コ）に入る適切な語句や数字を、それぞれ書きなさい。

結核は、全身性の感染症で、肺に病変を起こすことが多い感染症である。主として感染性の患者からの（ア）感染により感染する。

小・中学校の健康診断では問診により情報を把握する。問診項目は下記のとおり。

- ① 本人の結核罹患歴
 - ② 予防（イ）歴
 - ③ 家族の結核罹患歴
 - ④ （ウ）国での居住歴
 - ⑤ 自覚症状、健康状態（特に、（エ）週間以上の長引く咳や痰）
 - ⑥ 予防接種（（オ）接種）の有無
- 高等学校の健康診断では、第1学年で胸部エックス線検査を実施する。

精密検査対象者に対しては、胸部エックス線検査及び（カ）検査を行い、更に必要に応じ聴診、（キ）診その他必要な検査を行う。

結核発生時は、①（ク）措置の適切な実施、②保健所との連携による（ケ）に対する健康診断、③臨時健康診断などを実施し、感染拡大の予防に努める必要がある。結核の有無の検査において発病のおそれがあると診断された者については、おおむね（コ）後に再度結核の有無の検査を行うことが規定されており、保健所、医療機関との連携が一層大切になってくる。

令8 養護教諭（5枚のうち3）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

VI 次の1～15の文について、文中の（①）～（⑩）に入る適切な語句や数字を、それぞれ書きなさい。

- 1 てんかん発作の一種で、四肢の持続的な筋肉の収縮ではじまり、その後、全身の筋肉が収縮と弛緩を繰り返すけいれんに移行し、通常1～2分で終了する全般性の発作を（①）発作（大発作）という。
- 2 児童生徒等に見られる食物アレルギーは大きく3つの病型に分類され、食物アレルギーの最も典型的な病型である（②）型、口腔アレルギー症候群、（③）アナフィラキシーがある。
- 3 学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）令和元年度改訂の「アナフィラキシー／食物アレルギー」欄において、原因食物の除去根拠として最も高い位置付けになる試験で、原因食物を試験的に摂取し、それに伴う症状が現れるかどうかを見ることを食物（④）試験という。
- 4 自然気胸は、肺胞の一部が囊胞化したものや胸膜直下にできた囊胞ブレブの破裂によって起こる。突然の（⑤）、乾性（⑥）、呼吸困難が3兆候とされる。
- 5 ギラン・バレー症候群と関係があり、細菌性食中毒の中で最も高率にみられ、腹痛・下痢・発熱等を起こし、主に汚染された鶏肉などの食肉により感染する細菌を（⑦）という。
- 6 やけどは第Ⅰ度～第Ⅲ度に分類され、第Ⅱ度では皮膚が赤く腫脹し、水疱になるところもある。また、傷は（⑧）層に達している。
- 7 体がしだいに暑さに慣れて暑さに強くなり、熱中症にかかりにくくなることを（⑨）という。
- 8 大脳半球と脊髄を結ぶ部分で、呼吸、心臓の活動、体温調節など、基本的な生命現象をつかさどる神経の集合体を（⑩）という。
- 9 ファロー四徴症はチアノーゼを伴う先天性心疾患で、（⑪）、大動脈騎乗、肺動脈狭窄、（⑫）の4つの特徴をもつ。
- 10 学校環境衛生基準において、教室内の温度は、（⑬）℃以上（⑭）℃以下であることが望ましいとされている。
- 11 学校環境衛生基準において、水道水を水源とする飲料水のpH値は、（⑮）以上（⑯）以下であることとされている。
- 12 いじめ防止対策推進法第2条において、「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う（⑰）的又は（⑱）的な影響を与える行為（（⑲）を通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」とされている。
- 13 小学校学習指導要領（平成29年告示）（体育）（文部科学省）において、病気は、病原体、体の（⑳）、（㉑）、環境がかかわり合って起こるとされている。
- 14 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説（保健体育編）（文部科学省）において、薬物乱用については、覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって幻覚を伴った激しい急性の（㉒）状態や急死などを引き起こすことなど様々な障害が起きることを理解できるようにするとされている。
- 15 高等学校学習指導要領（平成30年告示）（保健体育）（文部科学省）において、精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の（㉓）及び社会的な対策が必要であるとされている。

令8 養護教諭 解答用紙 (5枚のうち4)

総計			

1	①						②						③							
	④						⑤						⑥							
	⑦						⑧													
2	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8				
				E	D	C	B	A	A	B	C	D	E							
				E	D	C	B	A	A	B	C	D	E							
I	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8				
	3	①						②						③						
		④						⑤						⑥						
4		⑦						⑧						⑨						
	①						②						③							
	④																			
5	ア						イ						ウ							
	エ						オ													

I

II	1						2						3							
	4																			

III	①						②						③					
	④						⑤						⑥					

II III

令8 養護教諭 解答用紙 (5枚のうち5)

IV	1		2		3	
	4					

V	ア		イ		ウ	
	エ		オ		エ	
	キ		ク		ケ	
	コ					

IV V

--	--	--

VI	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	
	⑩		⑪		⑫	
	⑬		⑭		⑮	
	⑯		⑰		⑱	
	⑲		⑳		㉑	
	㉒		㉓			

VI

--	--	--

令8 養護教諭 模範解答 (5枚のうち4)

総計	200

I	1	①	口蓋				②	舌				③	口蓋垂				
		④	エナメル質				⑤	象牙質				⑥	歯髓				
		⑦	歯根膜				⑧	歯槽骨									
	2	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
		C					E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	
							×										
	3	E	D	C	B	A	A	A	B	C	D	E					
		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
													C O				
	4	①	歯肉炎				②	歯石				③	歯周炎				
		④	卵胞				⑤	黄体				⑥	副腎皮質				
		⑦	むし歯				⑧	舌清掃				⑨	心因性口臭				
	5	①	口唇閉鎖				②	開咬				③	顎				
		④	筋肉														
		ア	○				イ	×				ウ	×				I 69
		工	×				オ	×									

II	1	肝臓・脾臓				2	○				3	左				
	4	ブルンベルグ														

III	①	エ				②	ウ				③	オ				
	④	力				⑤	キ				⑥	コ				II III 24

令8 養護教諭 模範解答 (5枚のうち5)

IV	1	コ	2	工	3	ア
	4	力				

V	ア	空気	イ	内服	ウ	高まん延
	工	2	オ	B C G	力	喀痰
	キ	打	ク	出席停止	ケ	接触者
	コ	6か月				

IV V 38

VI	①	強直間代	②	即時	③	食物依存性運動誘発
	④	経口負荷	⑤	胸痛	⑥	咳嗽
	⑦	カンピロバクター	⑧	真皮	⑨	暑熱順化
	⑩	脳幹	⑪	心室中隔欠損	⑫	右室肥大
	⑬	18	⑭	28	⑮	5.8
	⑯	8.6	⑰	心理	⑱	物理
	⑲	インターネット	⑳	抵抗力	㉑	生活行動
	㉒	錯乱	㉓	早期発見		

VI 69